

講義コード	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	ミクロ経済学演習				辻村 雅子	第1期
履修前提条件				備考		
授業の目的	この演習では、ミクロ経済学の講義内容を正しく理解し、自らの理解度を確認することを目的として、ミクロ経済学の講義に合わせて練習問題を解いていく。演習であるので、出席するだけではなく、演習時間に与えられる課題に取り組むことが必要である。一般的なミクロ経済学の問題を、自らの力で解けるようになり、さらに現実の経済を理解できるようになることを目的とする。					
到達目標	ミクロ経済学基講義内容を理解し、練習問題を解く力をつけ、現実の経済を理解できるようになることを目標とする。また、公務員等の各種資格試験の準備としても役立つことも目指している。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも60時間以上必要である。毎回の演習前に教科書と講義資料の内容や問題に目を通しておくこと。					
授業計画	<p>【第1回】 演習のガイダンス</p> <p>【第2回】 需要と供給の均衡分析 1</p> <p>【第3回】 需要と供給の均衡分析 2</p> <p>【第4回】 需要と供給の均衡分析 3</p> <p>【第5回】 需要と供給の均衡分析 4</p> <p>【第6回】 消費者行動 1</p> <p>【第7回】 消費者行動 2</p> <p>【第8回】 消費者行動 3</p> <p>【第9回】 消費者行動 4</p> <p>【第10回】 企業行動 1</p> <p>【第11回】 企業行動 2</p> <p>【第12回】 企業行動 3</p> <p>【第13回】 企業行動 4</p> <p>【第14回】 余剰分析 1</p> <p>【第15回】 余剰分析 2</p>					
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（70%）と提出課題（30%）によって評価する。					
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックは、翌週の講義内やポータルサイトにて行う。					
教科書	『ミクロ経済学をつかむ』神戸伸輔ほか（有斐閣）2006年					
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	教科書とミクロ経済学の授業資料を必ず持ってくること。演習用の教材・資料および連絡事項を、学内のポータルサイトを利用して掲示する場合があるので、担当者の指示に従うこと。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。					
その他	この演習は『ミクロ経済学』と同時に履修することを前提とする。『ミクロ経済学基礎』の単位を修得済みであることが望ましい。					